

<博士後期課程>

重点課題演習（1年～3年 必修・演習3単位）

保健学専攻主任 金子 嘉徳

【授業の到達目標および概要】

本演習は、健康科学、臨床病態生化学、実践学校保健学の3領域にわたる領域横断的な「重点課題」を定め、毎年、1～2のテーマで行われる演習である。その目的は、学生の幅広い保健学の知識と情報の共有、現実的な課題への対応力の強化にある。毎年、最低1回以上、いずれかの領域から重点課題を定め、演習を行う。令和7年度は、実践学校保健学領域の担当教員をコーディネーターとして、第一線で活躍されている先生や他分野の研究者を招き、シンポジウム形式で行う予定である。但し、状況によりオンライン開催とする。

【授業計画】

開催時期：9月末から11月中旬

- ①～④ 担当教員から指示された事前演習課題に取り組む
- ⑤～⑧ 外部講師を加えたワークショップへの参加（積極的に議論に加わる）
- ⑨～⑫ 院生同士の事後演習（ワークショップの総括討論を含む）とレポート作成
- ⑬⑭ まとめ

【授業外学習】

前述の事前、事後演習に向けて、各人が文献講読等の予備調査を行う。

【成績評価の方法・基準】

演習への参加態度、発言等にみられる内容理解、演習課題に関するレポートの評価によって行う。

【教材】

担当教員によって指示されたもの。